

Commerce and industry



●八雲町情報交流物産館「丘の駅」

八雲町が進める「交流人口の拡大による新しいまちづくりプロジェクト」の中核施設として、平成26年に1月道立公園噴火湾パノラマパーク内にオープン。地場産品を展示・販売するほか、八雲町を含めた近隣町村の観光情報を提供する。一般社団法人八雲観光物産協会が町から指定管理を受託し、専属スタッフを配置して運営を担う。



●丘の駅物産コーナー

地元の木材をふんだんに使用した施設内は、木の香りが漂い、落ち着いた雰囲気の中で特産品の買い物が楽しめる。



●丘の駅観光コーナー

八雲町の魅力を紹介するビデオ映像や、八雲町・近隣市町村の観光情報も充実、八雲発祥の木彫り熊も展示されている。



●株式会社 ジェイデバイスセミコンダクタ

国内最大級の半導体後工程受託会社である(株)ジェイデバイスの子会社。函館センター（七飯町）の製造ラインとして一翼を担っている。



●ヤマキ船舶化工業株式会社

ヤマハ発動機グループ会社として、ヤマハブランドの漁船等を北海道・東北市場全域への供給を担当する製造・販売会社。



●日本フードパッカー株式会社道南工場

国内食肉業界最大手・日本ハムのグループ企業。国内数カ所にある同社工場の一つとして豚、牛等の食肉の処理・加工を行う。



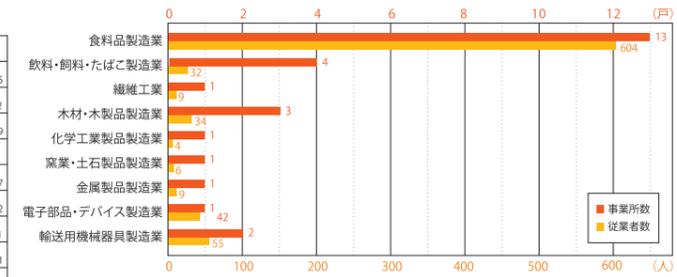
●服部醸造株式会社

昭和2年八雲で創業した老舗醸造メーカー。マルハチのマークで知られる味噌、醤油、つゆ、たれ、調味みそ、調味液などを製造。

■産業別就業人口（平成22年・人）
[資料 国勢調査]

業種	人数 (人)
第一次産業	1,796人
農業	765
林業	92
漁業	939
第二次産業	1,775人
鉱業・採石業・砂利採取業	6
建設業	917
製造業	852
電気・ガス・熱供給・水道業	71
情報通信業	11
運輸業・郵便業	314
卸売業・小売業	1,145
金融業・保険業	112
不動産業・物品賃貸業	49
第三次産業	5,499人
学術研究・専門・技術サービス業	159
宿泊業・飲食サービス業	478
生活関連サービス業・娯楽業	256
教育・学習支援事業	378
医療・福祉	1,199
複合サービス事業	168
その他のサービス業	393
公称(他に分類されないものを除く)	658
分類不能の産業	108

■工業事業所数・従業者数及び年間製品出荷額（平成23年） [資料 工業統計調査および経済センサス活動調査]



《補足》事業所数及び年間製品出荷額の変化

年	事業所数	年間製品出荷額
2006年	29	221億7,200万円
2008年	34	273億1,100万円
2010年	27	283億1,000万円
2011年	27	278億 400万円



●八雲の特産品（お菓子・食品）

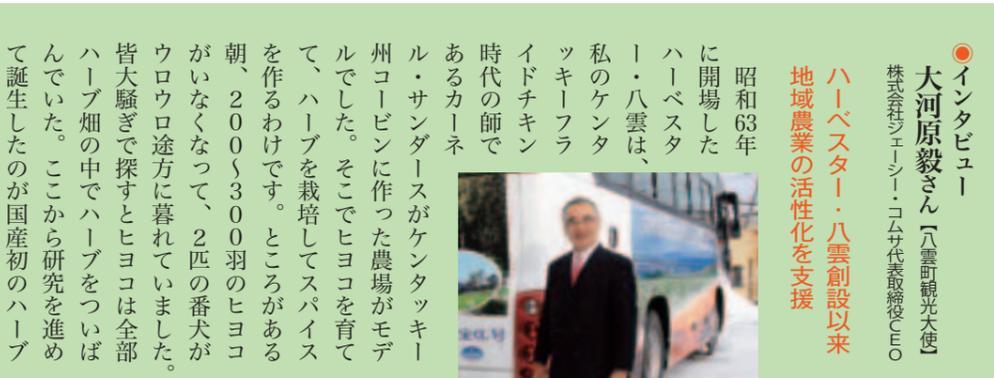
幅広く生産される一次産品を活かしてさまざまな特産品が数多くある。もち米「風の子もち」は、八雲高校と連携した「ふた海おこわ」として商品開発につながる等、菓子類から料理の食材、調味料まで、一次産品生産者と加工製造者のコラボレーションによって魅力的なオリジナル商品が生まれている。

道南北部地域における
商工業、流通の拠点都市

交通の要衝として利便性の高い八雲町は、道南北部の商工業、流通の拠点となっています。商業においては国道5号沿線を中心に大型商業施設の立地が進んでいます。車での利便性の高いロードサイド型店舗の集積は、近隣自治体の消費者も誘引できる環境となっています。

一方、地元商業者は大型店進出や後継者不足等により減少傾向にありますが、個性的な店舗が軒を連ねる八雲本町商店街では「まちなか」の賑わい創出に取り組んでいます。本町商店街の中核施設である「はびあ八雲」で開催される「はびあ産直市」は、地元の新鮮な食材を購入できる場として定着しています。また、町の重点施策である「交流人口の拡大による新しいまちづくり」に対応して、まちあるき等の体験ツアーを実施したり、飲食店では地場食材を活用した食の新メニュー開発にも取り組んでいます。

工業においては、基幹産業である農業、水産業に関連した食品製造業が中心となっており、町の製造品出荷額約278億円（平成23年）の8割以上を食品製造業が占めています。主要な事業所は水産加工業、食肉処理加工業、木材製造業、船舶製造業などにみられます。熊石地域における海洋深層水事業は、漁業分野の利用のみならず、食塩や水産加工品、味噌などの原材料としても利用されています。



●インタビュー

大河原毅さん（八雲町観光大使
株式会社ジェーシー・コムサ代表取締役CEO）

ハーパースター・八雲創設以来
地域農業の活性化を支援

昭和63年に開場したハーベスター・八雲は、私のケンタッキーフライドチキン時代の師であるカーネン・サンダースがケンタッキーフライドチキンを作った農場がモデルでした。そこでヒヨコを育てて、ハーブを栽培してスパイスを作るわけです。ところが朝、200〜300羽のヒヨコがいなくなると、2匹の番犬がウロウロと暮らしていました。皆大騒ぎで探すとヒヨコは全部ハーブ畑の中でハーブをついでいた。ここから研究を進めて誕生したのが国産初のハーブ



●ハーベスター・八雲

日本ケンタッキーフライドチキンの実験農場として開設。平成14年に外食・食品流通事業の(株)ジェーシー・コムサへ経営移管。噴火湾を一望できる丘陵からの景観と料理が人気のレストランは、八雲町を代表する観光スポット。噴火湾パノラマパークに隣接。



●はびあ八雲／はびあ産直市

八雲本町通商店街の中核施設。2階は八雲町商工会、1階は各種イベントが開催されるコミュニティ施設。5月から11月までの第2・第4土曜日に開催される「はびあ産直市」は八雲の新鮮な野菜や魚介類が人気で町外からも買い物客が訪れる。



●熊石深層水株式会社

海洋深層水を利用した産業創出を目的に、町民有志が設立。塩・ニガリ、地ビールから野菜、ジャムなど幅広く商品開発・販売を行う。ね人気店も多い。



●熊石地域商店街

熊石総合支所を中心としたエリアは、金融機関や食品店、豊富な魚介を提供する飲食店などが軒を連ね人気店も多い。



●八雲地域商店街

八雲郵便局から八雲駅、八雲総合病院に至る八雲のメインストリート。八雲まつりや山車行列等のイベント時は歩行者天国として賑わう。

●国道5号バイパス

国道5号沿線には道内大手食品スーパーをはじめ、ホームセンター、ドラッグストア、紳士服店等が集積。